

認定看護師認定更新・再認定審査における研修実績及び研究業績等申告表

群	種類	項目	内容	1件あたりの点数	証明資料(コピー可)		備考	様式
					提出物	必要記載事項		
I 実践活動等	実践活動 (社会活動)	実践活動 (社会活動)	学会や自治体、看護協会等における委員会活動等	10	依頼文書 等	①プログラム(委員会)名等 ②年月日(期間) ③概要 ④本人氏名	・証明資料に本人氏名の記載がない場合は、申請者本人が実施したことを所属長又は活動先の責任者の署名・捺印にて証明すること(書式自由。証明資料の余白に記載しても可)。署名・捺印がないものは無効。	NR-4-1
			所属施設外の現任者及び一般市民への指導、社会活動等	10	依頼文書 等	①プログラム(委員会)名等 ②年月日 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・証明資料に本人氏名の記載がない場合は、申請者本人が実施したことを所属長又は活動先の責任者の署名・捺印にて証明すること(書式自由。証明資料の余白に記載しても可)。署名・捺印がないものは無効。	
		実践活動 (社会活動)	認定看護師教育課程の研修者に対する実習指導	10	依頼文書 等	①実習期間 ②対象 ③概要 ④本人氏名	・証明資料に本人氏名の記載がない場合は、申請者本人が実施したことを所属長又は活動先の責任者の署名・捺印にて証明すること(書式自由。証明資料の余白に記載しても可)。署名・捺印がないものは無効。	NR-4-2
			特定行為研修の研修者に対する実習指導	5	依頼文書 等	①実習期間 ②対象 ③特定行為区分名 または特定行為名 ④本人氏名	・1特定行為の臨床における実習指導を行った期間を1件として認める。 ・1年1件の申請可能。(同年内の複数の実績についての申請は不可) ・証明資料に本人氏名の記載がない場合は、申請者本人が実施したことを所属長又は活動先の責任者の署名・捺印にて証明すること(書式自由。証明資料の余白に記載しても可)。署名・捺印がないものは無効。	
	講師等	専任教員	認定看護師教育課程の主任教員・専任教員	20	勤務証明書	①教育機関名 ②教育課程名 ③勤務期間 ④本人氏名	・勤務期間が6か月以上の場合につき、1件として認める。ただし、閉講期間中は認めない。 ・複数年にわたり勤務した場合、証明資料にてそのことが確認できれば各年20点を認める。 ・NR-2-2「教育従事期間証明書」のコピーを証明資料としても可。	NR-4-3
		非常勤講師	認定看護師教育としての講義、看護学生講義等(1回でも、数回に分担でも)	10	依頼文書 等	①講義名 ②年月日 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・講義1シリーズにつき1件として認める。 ・複数年にわたり実施した場合、1年毎に証明資料を提出すれば各年10点を認める。 ・審査の対象とならない資料(講義資料等)は添付しないこと。	NR-4-4
		院内研修指導	院内教育・研修プログラムの担当、指導	5	院内掲示物、依頼文書 等	①研修名 ②年月日 ③対象 ④概要 ⑤本人氏名	・証明資料に本人氏名の記載がない場合(フルネームでない場合も含む)は、申請者本人が実施したことを所属長等の署名・捺印にて証明すること(書式自由。証明資料の余白に記載しても可)。署名・捺印がないものは無効。 ・本人が自作した院内掲示物は無効。院内掲示物も依頼文書もない場合は、申請者本人が実施したことを所属長等の署名・捺印にて証明すること(書式自由だが必要記載事項が確認できないものは無効)。	NR-4-5
	研修等への参加	特定行為研修	特定行為研修の修了	15	修了証 等	①研修機関名 ②特定行為区分名 ③修了年月日 ④本人氏名 ⑤研修機関の押印	・初めて特定行為研修を受講して修了した者のみ申請可。(2回目以降の受講については申請不可) ・区分別科目を追加履修した場合は対象外とする。 ・証明資料に、生年月日等の個人情報が含まれる場合は、当該箇所を黒塗りと可。	NR-4-6
		研修プログラム①	認定看護分野に関する最新の情報・知識・技術の修得のための研修プログラムへの参加	2	参加証、修了証、受講証、領収書 等	①研修名 ②年月日(開催時間) ③本人氏名 ④主催者の押印	・開催時間が3時間に満たないものは対象外。 ・3時間以上4時間未満の短時間開催の場合には、1点で申告すること。 ・参加証、修了証、受講証は原本であれば「④主催者の押印」がなくても有効。押印のない領収書は無効。	
		研修プログラム②	・教育機関等が開催する認定看護師のみを対象とした研修プログラムへの参加 ・認定看護師、専門看護師、看護管理者(認定看護管理者を含む)を対象とした研修プログラムへの参加	6	以下の2点 1. 研修プログラム 等 2. 参加証、修了証、受講証、領収書 等	1. ①研修名 ②年月日(開催時間) ③概要 2. ①研修名 ②年月日 ③本人氏名 ④主催者の押印	・開催時間が3時間に満たないものは対象外。 ・3時間以上4時間未満の短時間開催の場合には、3点で申告すること。 ・2の証明資料について、参加証、修了証、受講証は原本であれば「④主催者の押印」がないいても有効。押印のない領収書は無効。	
		学会・研究会	一般参加	3	参加証、修了証、受講証、領収書 等	①学会・研究会名 ②年月日 ③本人氏名 ④主催者の押印	・海外での国際会議及び学術集会の証明資料に「④主催者の押印」がない場合は、参加証、修了証、受講証は原本であれば有効。領収書は、コピーでも有効。	
	II 学会・研究会発表等	学会・研究会発表	研究発表 筆頭者	10	学会集会誌等の表紙、目次、抄録 等	①学会・研究会名 ②発表年月日 ③演題名 ④本人氏名	・①～④について確認できるページ(複数にわたっても可)のコピーを提出すること。 ・審査の対象とならない資料(学会の発表原稿等の自作資料)は添付しないこと。	NR-4-8
共同研究者			5					
学会講演等		特別・基調講演の講師、シンポジスト等	10	依頼文書、講演の抄録 等	①学会名 ②発表年月日 ③演題名 ④本人氏名	・依頼文書及び抄録だけでは①～④の記載が網羅されない場合は、記載のある資料(主催者が作成したもの)をあわせて提出のこと(自作のものは不可)。	NR-4-9	
		学会長	15	学術集会プログラム、学会誌の目次 等	①学会名 ②年月日 ③学会長(本人)氏名	・プログラム及び目次だけでは①～③の記載が網羅されない場合は、記載のある資料(主催者が作成したもの)をあわせて提出のこと(自作のものは不可)。	NR-4-10	
		座長	5	学術集会プログラム、学会誌の目次 等	①学会名 ②年月日 ③座長担当部分の演題一覧 ④座長(本人)氏名	・プログラム及び目次だけでは①～④の記載が網羅されない場合は、記載のある資料(主催者が作成したもの)をあわせて提出のこと(自作のものは不可)。	NR-4-11	
論文等の表紙・筆・専門		論文発表・執筆	筆頭執筆者	10	別刷、コピー 等	①掲載雑誌名 ②出版年月 ③題名 ④本人氏名 ⑤内容(概要のわかる部分)	・インタビュー記事は対象外。 ・出版年月が審査対象期間であること。 ・①～⑤について確認できるページ(複数にわたっても可)のコピーを提出すること。 ・審査の対象とならない資料(執筆依頼文書等)は添付しないこと。	NR-4-12
	共著者		5					

注) I群(実践活動等)、II群(研究活動等)ともに各群10点以上申告することが望ましい。

注) I群内・II群内で、1つの項目に偏らないよう申告することが望ましい。

注) WEB開催の研修、学会等の参加の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。

注) WEB開催の学会等の発表、講演等の場合も申請可能。必要記載事項が確認できるWEB画面を印刷し、証明資料としてもよい。